

「効果測定ツール」活用事例紹介 【概要版】

■ 効果測定ツールとは・・・

「効果測定ツール」は、簡単に言えば、取組の「効果を見える化」するツールです。
「～にかかった時間」が取組前と後でどれくらい変わったか、「良くなったと感じる職員」がどれくらいいるかをグラフで簡単に確認することができます。

取組の効果を
見える化できる！

課題解決の道筋を点検できる！
コミュニケーションを活発にできる！
経営層への説明に使える！



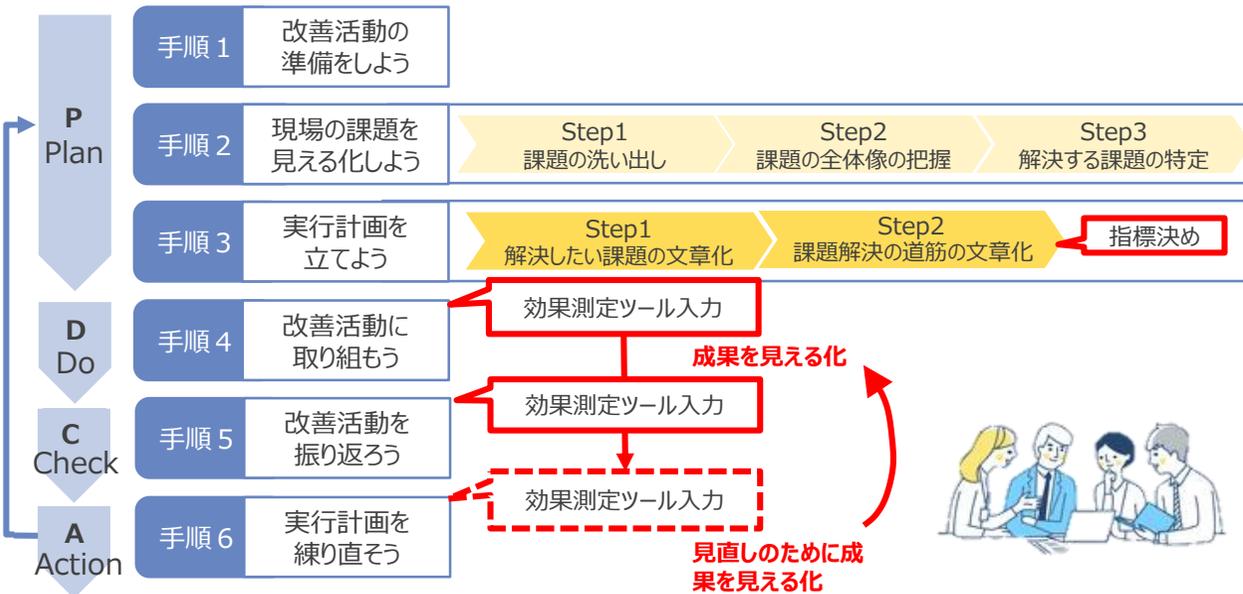
■ 活用事例集の使い方 1

活用事例集では、指標の作り方を説明しています。現場の課題を見える化した後、実際に指標を作成するには、課題解決までの道筋を文章化すると、整理がしやすくなります！



■ 取組の手順

事業所内の改善活動を進めていく中では、課題を見つけ、その原因、それによる悪影響を見つけていきます。そして、打ち手となる取組を行うことで、課題が解決されるか評価することになります。



■ 活用事例集の使い方 2

「効果測定ツール」を実際に使った事業所の事例を紹介しています。ツールをより効率的に使うため、また現場のコミュニケーションの促進に使うため、様々なポイントを紹介していますので、参考にしてください！

<ポイント>

1. 指標の表現は自由自在！
2. 指標選択後は、複数人で確認しましょう！
3. 回答者が迷わない指標にしましょう！
4. 数字の変化がしやすい指標を1つ以上作りましょう！
5. 指標の結果は必ず分析が必要！
6. 職員のモチベーションを下げる指標は落とすことも必要！

定量の代表といえば、「時間」、「回数」です！

「～にかかる時間が▲▲分減少する」
「～が▲▲回から■■回に増える」 など



ワンポイント